

# ASL

no.3

— 1期 11/3-12/4

美・鑑

— 2期 12/10-1/15

エッジ・実験

— 3期 1/21-2/12

暮らし・デザイン

<http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

ART INFORMATION  
2017.1.21-2.12

「ASL」とは、金沢21世紀工芸祭の一環として  
「KANAZAWA ARTSPACE LINK」が発行するフリーペーパーです。

金沢のアートスペースを3つの「傾向」で  
グルーピングし、2016年11月から2月までの  
金沢近郊のアート情報を全3回、3期に分けて紹介しています。



ART SPACE LINK

KANAZAWA



## 3期

## 暮らし・デザイン

金沢のアートスペース各々が日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングする、第3期のキーワードは「暮らし・デザイン」。作家の作品は勿論、タイポグラフィや本を通じた展覧会や生活雑貨、器、ファッショなども紹介しているアートスペースです。



### 大村大悟展

1/21sat - 2/5sun

### 大村大悟 Oomura Daigo

大村大悟(美術家／彫刻家)の個展を開催いたします。作家が近年制作する木製の器と彫刻作品を併せて展示いたします。

**ギャラリー 棚** Gallery Muku  
住所 金沢市東山2丁目1-7  
営業時間 11:00-17:00  
定休日 木曜  
駐車場 6台



### 常設展

1/21sat - 2/12sun

### 吉岡正義 Yoshioka Masayoshi

陶庵に関わりの深い、韓国、インドネシア、日本の作家4名による展示

**陶庵** to-an  
住所 金沢市入江2-401  
営業時間 13:00-21:00  
定休日 木曜  
駐車場 6台



### 小火鉢展

Small Hibachi Exhibition

1/18wed - 1/23mon

福田栄一 Fukuda Eiichi  
河村澄香 Kawamura Sumika  
伊藤孝英 Ito Takahide

陶芸家による、卓上火鉢の展示・販売。各作家の個性が面白い、置くだけで絵になる小火鉢です。

### ギャラリー トネリコ Gallery Tonellico

住所 金沢市池田町3-30  
営業時間 11:00-18:30 ※展覧会最終日は17:30まで  
定休日 火曜  
駐車場 近隣のコインP利用下さい



### 藤野征一郎漆展 盆・箱いろいろ

Fujino Seiichiro Lacquer Art Exhibition

1/18wed - 1/23mon

### 藤野征一郎 Fujino Seiichiro

いろいろの技を駆使し、いろいろの形と模様を作り上げる藤野征一郎氏の漆。その多角的な魅力をお楽しみください。

### ギャラリー トネリコ Gallery Tonellico

住所 金沢市池田町3-30  
営業時間 11:00-18:30 ※展覧会最終日は17:30まで  
定休日 火曜  
駐車場 近隣のコインP利用下さい



### 伊藤まさこさんの本棚

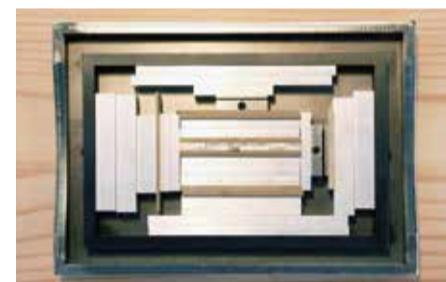
2016/11/11fri - 2/12sun

### 編集 伊藤まさこ Masako Ito

伊藤さんのアトリエには、数々の本が並ぶ大きな本棚があります。伊藤さんのセンスを作ってきた、その200冊を超える本がBUHに並びます。本のテーマに沿った雑貨も展示。伊藤さんの感覚を養ってきた数々の本と雑貨に囲まれ、伊藤さんの頭の中と感性を覗ける空間です。

### Books under Hotchkiss

住所 金沢市広坂1-9-11  
営業時間 11:00-20:00  
定休日 月曜  
駐車場 1台



### 月曜日のタイポグラフィ TYPOGRAPHY MONDAY

1/21sat - 2/12sun

### 山崎晴太郎 Seitaro Yamazaki 宮川智志 Satoshi Miyakawa

意味と記号を纏い定着しようとする文字を、水引を用いて、もう一度平面から解放する。再び中空へ融けていこうとする文字の軌跡。

### serif s

住所 金沢市尾張町1-8-7  
営業時間 平日11:00-19:00 土日12:00-18:00  
定休日 水曜  
駐車場 近隣のコインP利用下さい



### 暮らしの赤

1/21sat - 2/12sun

### 赤地径 Akaji Kei

赤色の愛らしい器はいつもの暮らしになじみながら、ちょっぴりトクベツ感を演出します。

### [g]ift / ギフト金沢 [g]ift KANAZAWA

住所 金沢市広坂1-2-18 1F  
営業時間 10:00-18:00  
定休日 月曜(祝日の場合翌平日)  
駐車場 近隣のコインP利用下さい



### 常設展

1/21sat - 2/12sun

### ・石山哲也・今泉毅

### ・加藤委・金重有邦

他 Tetsuya Ishiyama/Takeshi Imaizumi/  
Tsubasa Kano/Yuho Kaneshige and more

焼き締めや施釉の陶器・磁器など、酒器を中心<sup>に</sup>食器・花器・茶陶など約150点が並びます。

### 茫茫屋

住所 金沢市天神町1-18-8 1F  
営業時間 11:00-18:00  
定休日 水・木曜  
駐車場 3台



### 一縷 - ichiru -

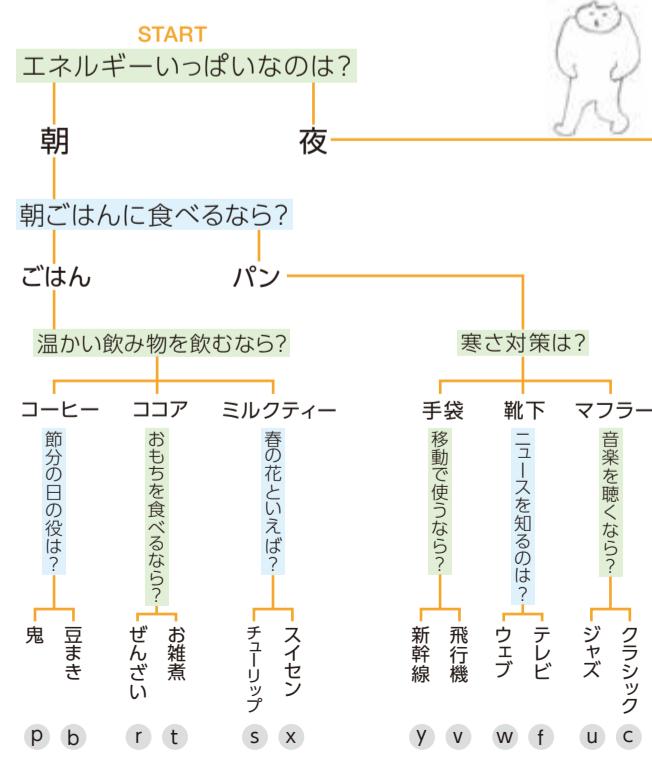
1/22sun - 2/19sun

### 林悠樹 Hayashi Yuki

林悠樹(グラフィックデザイナー)の個展を開催いたします。シルクスクリーン・写真・ドローイングによる新作を展示いたします。

### notto

住所 白山市横江町1244-7  
営業時間 13:00-19:00  
定休日 日曜のみオープン  
駐車場 5台



### 今日はどこいく? 金沢アートスペース診断

好きなアートスペースが一発で分かる!  
当たらぬも八卦当たらぬも八卦。レッツエンジョイ。  
制作:マドモアゼル宮越



旅にでるなら? アジア

ヨーロッパ

バレンタインチョコをあげるなら?

友達 休日はどう過ごす?

本命 原稿を書くときは?

自分 冬にスポーツするなら?

スキーボード

スノボ

横書き

縦書き

外で遊ぶ

おうちでのんびり

スキー

スノボ

スキーボード

横書き

縦書き

スキー

スノボ

# KANAZAWA ARTSPACE LINK 2016

金沢アートスペースリンクは2012年に発足した、金沢市近郊に点在するギャラリー、アートスペースの寄合です。メンバーを特定せず年1回のペースで企画を行ってきました。

5年目となる今年は「金沢21世紀工芸祭」の1コンテンツとして、2016年11月から2017年2月の4か月間、「金沢アートスペースリンク2016」を開催します。金沢の美術シーンがいきいきと対流していくための土壤づくりを目的とし、アートスペース各々が、日々行動し目指している「傾向」を3つにグルーピングし、金沢アートグミでのグループ展等を行います。金沢21世紀工芸祭は5ヶ月の“期間”がありますが、私たちの営みは前にも後にも続いています。本企画は、アートスペースの個を発見すること、新しい出会いの機会をつくること、そして、それぞれが目指す「傾向」から金沢の未来を思い見る試みです。

## 1期 美・鑑

11/3—12/4

ガレリア ボンテ / 山ノ上ギャラリー / café&gallery musée / shirasagi 白鷺美術 / Art Shop 月映 / ギャラリー アルトラ / SKLO / 金沢アートグミ

“金沢で、うつくしい表現を考える。”

工芸を中心に扱うスペースが多く、コンスタンツに堅実な企画を行っています。

## 2期 エッジ・実験

12/10—1/15

Kapo/ルンバルンバ / THE ROOM BELOW / Badass gallery / 芸宿 / 香林坊窟 / 山鬼文庫 / As baku B / 間屋まちスタジオ

“中心と周縁。表現とは綺麗なものばかりではなく、多義的なものだ。”

アーティスト運営スペース、私設図書館やバー併設など実験的な企画運営を行うスペースを集めました。

## 3期 暮らし・デザイン

1/21—2/12

Gallery 棕 / 陶庵 / ギャラリートネリコ / [g]ift 金沢 / Books under Hotchikiss / serif s / 茫茫屋 / notto

“暮らしの中にあるうつくしさは、気持ちを柔らかくする。”

作家の作品だけでなく普段使いのもの、デザインや書籍にも目が向いたスペース群です。

## Column

### 金沢に越して / プールサイド小景

長谷川 新

筆者は関西圏に20年以上住んでいた身であり、日本海側に住むというのは初めての経験であった。金沢の友人たちはそろって「金沢の気候の厳しさ」を半ば嬉しそうに脅してくる。しかしながら、越して半年以上が経とうとしているが、幸いにも金沢はとても暮らしやすい街であり続けてくれている。食べ物は美味しい、東京や関西へもアクセスは容易だ。様々な文化施設もあり(金沢市民芸術村は全国的に見てもすごい施設である)、美術工芸大学もある。当たり前のように、たくさんの人たちの暮らしがあり、息づかいがある。ふっと息を吸いこんで、彼らの営みのなかに飛び込み、ゆっくりと潜ってみる。潜水。自分が呼吸をしなければ生きていけないのだと思いしらってくれる経験。昨日と今日と明日が溶け合っている感触。偶然にも筆者は学生時代水泳部に所属していた。タイムは、全く自慢できるような代物ではないのだけれど。

潜水。金沢21世紀美術館で最も人気な作品といつても過言ではない、レアンドロ・エルリッヒのプールは、別のかたちでの潜水を私たちに体験させてくれる。あるいは別のかたちでのプールサイド小景を示してくれる。このプールに飛び込むことはできない。飛び込むべき水面は目を凝らせば他にたくさんあるからだ。ところで、これを読んでいる方は、「日本海造形会議」という集団を御存知だろうか。筆者は彼らの記録集をなぜか沖縄の古本屋で手に入れた。1978年に結成され、2008年に解散したこのグループは、当時著名であった美術関係者を金沢に招聘し、草の根の前衛芸活動を推進してきた。彼らが提起した「石川県新美術館設立意見書」(1978年)を紐解くと、美術館の機構図が掲載されている。「大ホール」「屋外展示場」「映像室」だけでなく、「ベビーシッタールーム」や「スナックルーム」などもある。そしてそこには、ひっそりと「水プール」と書き込まれている。ありえたかもしれないプールサイド小景はこんなところにも潜んでいるのである。

Kanazawa Art Space Link is an association of galleries and art spaces in Kanazawa and nearby areas. We have been carrying out art projects once a year without specifying the participants.

This is the fifth year of our association, and we will hold “Kanazawa Art Space Link 2016” as part of “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival,” which will run for four months, from November 2016 to February 2017. The purpose of our event is to facilitate communication in the Kanazawa art scene. Art spaces are categorized into three groups according to their trends and objectives, and group exhibitions will be held at Kanazawa Artgummi.

Although “Kanazawa 21st Century KOGEI Festival” will be held for a fixed period, our activities start before and continue after the festival. We will try to find the particularities of art spaces, create occasions for meeting new people, and get an idea of the future of art in Kanazawa, based on exhibition trends.

## 金沢アートスペースリンク2016

期間 2016年11月3日～2017年2月12日

参加スペース 25

お問合せ 金沢アートスペースリンク (tel 076-225-7780)

web <http://kanazawartspacelink.tumblr.com>

## 金沢21世紀工芸祭

コンテンツ 趣膳食彩／工芸回廊／金沢みらい茶会／金沢みらい工芸部／  
金沢アートスペースリンク

主催 金沢創造都市推進委員会 金沢市

共催 公益社団法人金沢青年会議所 NPO法人趣都金澤

金沢アートスペースリンク

事務局 金沢21世紀工芸祭実行委員会(株式会社ノエチカ内)

web <http://21c-kogei.jp>



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



City of Crafts  
and Folk Art  
KANAZAWA  
Member of the  
UNESCO Creative Cities  
Network since 2009

平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際化推進事業  
Supported by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan in the fiscal 2016

## My Move to Kanazawa - a poolside scene

I lived in the Kansai area for over 20 years, and living on the Japan Sea side of the country was my first experience of life. My friends in Kanazawa told me half-mockingly about the city's harsh climate. However, now that almost six months have passed since I moved here, Kanazawa continues to be a good place to live. The food is delicious and access to the Tokyo and Kansai areas is easy. What's more, there are many cultural facilities such as Kanazawa Citizens' Art Center (an amazing facility even by national standards) and Kanazawa College of Art. Of course, many people live here and conduct their daily activities. After taking a deep breath, I jumped into their activities and dived slowly. "Diving" was an experience that made me realize that I cannot live without breathing. It felt like yesterday, today and tomorrow melted together. As it happens, I belonged to a swimming club in my school days, although my time in swimming is not something I can be proud of.

"A Dive". It is no exaggeration to say that "Swimming Pool," by Leandro Erlich, is the most popular artwork in the 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa. It gives us an experience of diving in a different way, or it shows us a scene from the poolside in a different way. However, we cannot jump into this pool. However, there are many other water surfaces we can dive into, which we can see by straining our eyes.

By the way, have you heard of the creators' group "Nihonkai Zokei Kaigi"? I bought their picture book at a secondhand bookstore in Okinawa. The group, which was formed in 1978 and dissolved in 2008, invited distinguished people related to the arts to Kanazawa, and promoted grassroots avant-garde artistic activities. In their "Written Opinion for the Establishment of a New Art Museum in Ishikawa Prefecture" (1978), there is an organization chart, which includes not only a large hall, open-air exhibition site and video room, but also a child-minding room and a snack room. There are also the stealthily written words "water pool." A scene from a poolside which is within the realm of possibility is hidden in such a place.

### プロフィール

1988年生まれ。インディペンデント・キュレーター。「北加賀賀屋クロッシング2013 MOBILIS IN MOBILI-」を務める(2013-2014)。主な企画に「無人島にて—[80年代]の彫刻／立体／インスタレーション」(2014)、「パレード・キヨト／現実のたての音」(2015)など。現在「クロニクル、クロニクル！」開催中。

Arata Hasegawa